

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【公表番号】特表2010-532466(P2010-532466A)

【公表日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2010-513383(P2010-513383)

【国際特許分類】

G 01 B	11/00	(2006.01)
D 04 H	1/72	(2006.01)
G 01 B	7/00	(2006.01)
G 01 B	21/32	(2006.01)
G 01 D	5/36	(2006.01)

【F I】

G 01 B	11/00	A
D 04 H	1/72	B
G 01 B	7/00	1 0 1 M
G 01 B	21/32	
G 01 D	5/36	C

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウェブの変位を表示するための方法であって、
複数の別個の目盛り構造が配置された細長い可撓性のウェブを移動させる工程と、
前記目盛り構造を使用してエネルギーを変調する工程と、
変調されたエネルギーを、連続的なウェブの変位を示す信号に変換する工程と、を含む
方法。

【請求項2】

前記目盛り構造が、光学的な目盛り構造を備え、
前記エネルギーを変調する工程が、前記光学的な目盛り構造を使用して光を変調する工
程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ウェブが、透明なウェブを含み、
前記光を変調する工程が、前記光の一部分を、前記透明なウェブを透過させることを含
み、

透過させた光に基づいて前記ウェブの変位を決定する工程を更に含む、請求項2に記載
の方法。

【請求項4】

ウェブの変位を表示するためのシステムであって、
一体的な目盛りが配置された細長い可撓性のウェブであって、前記目盛りが、前記ウェ
ブに向けられたエネルギーを変調するように構成された複数の別個の目盛り構造を備える
、ウェブと、

前記目盛り構造によって変調されたエネルギーを検知し、さらに前記変調されたエネルギーに基づいて連続的なウェブの変位を示す信号を生成するように構成された変換器と、

前記ウェブと前記変換器とが相対移動するように構成された移送機構と、を備えるシステム。

【請求項 5】

一体的な目盛りを有する可撓性の細長いウェブを備える装置であって、前記目盛りが、前記ウェブ上に配置されかつ前記ウェブに向けられたエネルギーを変調するように構成された目盛り構造のパターンを備え、変調されたエネルギーが、前記ウェブの連続的な変位を示す、装置。

【請求項 6】

前記ウェブ上に配置されたウェブ構造のパターンを更に備える、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記目盛り構造がプリズムを備え、

前記エネルギーが光を含む、請求項 5 に記載の装置。